

# Noto PLUS

# 8



広報のと 第90号

平成24年8月1日発行

発行・能登町 編集・広報情報推進課  
〒927-0492 石川県鳳珠郡能登町宇出津新1字1-9-7番地1

TEL: 0768-62-10000  
能登町 URL: <http://www.town.noto.lg.jp>  
Eメール: [info@town.noto.lg.jp](mailto:info@town.noto.lg.jp)

祭りで燃え上がる魂は、  
能登人に刻まれたDNA

ぶらり里山  
ゆらり里海

第8回

## 『能登半島一周 歩き旅』



『のと遍路』という巡礼



とり徒歩で旅したときほど、私がゆたかに  
考え、ゆたかに存在し、ゆたかに生き、あ  
えていうならば、ゆたかに私自身であった  
ことはない。(ルソー)

移住して四年目、私はここでガイドをしているのに能登で生まれ育った原体験がありません。もし能登の子供たちのように歩く速度で流れる風景に身を置いて、風や匂いや音や大気や自然や人を身近に感じられれば、その代わりになるかもしれない。自分勝手にそう考え、歩いて能登を一周することにしました。半島の海の道と山の道とを結び、祈りたくなるような風土を体に刻む歩き旅はまるでお遍路さんのようです。だから「のと遍路」です。全行程約四百五十キロを健康に踏破するため、二本のポールを使う直立四足歩行で挑戦しました。そんなわけで能登半島をノルディック・ウォーキングで一周し、六月二十五日から数えて十九日目で達成しました。

出発地は能登町最高地点・鉢伏山。里山里海を結ぶ野川沿いを下り、曾々木で海に達して一周の起点とし、そこから時計回りに進み、緑剛崎を最先端に、宝達山を最南最高地点に置いて、能登島を含む能登半島の海と山を巡り再び曾々木に至りました。

「のと遍路」は能登の風土を巡礼する旅でした。海(辺地)と山(修験)を合わせ、タブとブナを巡り、森羅万象に手を合わせ、今ココの偶然に任せて能登人と出会い、それに共感し応援し支えて下さったたくさんの方と共に歩んだ半島一周でした。それは意外にも加賀藩士田辺政巳が能登を一周し「能登日記」を残して以来百九十五年振りの快挙だったそうです。私も旅の記録をまとめ、「平成版・能登日記」を残してみようと思います。

### 写真・文 山崎昭宏



**[PROFILE]** Yamazaki Akihiro  
昭和42年埼玉県生まれ。平成21年能登町笹川に移住。海外に憧れ、旅行のみならず仕事でも関わった。貿易は異文化コミュニケーションであり、仲立ちが成功すればモノが動くと会得した。今は都会と農村の価値の仲立ちをしている。同じことをしていると気づいた。ブログ：ゆらりぶらり <http://blog.livedoor.jp/yurariburari/>

